

部門紹介（４） 福岡工場



福岡工場は換気扇（排気型、給気型、攪拌型、拡散型、ブロー型タイプ）、およびコントローラー（タイマー）の生産を行っています。
工場の構成としては業務課と製造課の2課で構成されており、業務課は主に発注に対して製造課への生産依頼、出荷業務が主な業務で、製造課は生産計画もしくは業務課からの生産依頼に対して生産を行っています。
簡単に換気扇と言いましても当社では多数の機種が存在していますので1台1台の生産出荷に気を配りより良い品質のものをお客様へ出荷できるように作業環境の構築および改善を行っています。
工場へ来て頂ければ、製品の生産と実際の換気扇の稼働シミュレーションがご覧頂けますので一度見学に来てください。

INFORMATION

住宅情報誌
世界でいちばん自分らしい家3
「工務店で建てたしあわせ住まい26」
で当社製「タービン・ユニット」の
記事が掲載されています。
(新しい住まいの設計別冊 扶桑社)



あわせて「OZONE情報バンク」
カタログ&パーツライブラリー
に登録されました。
くわしくはこちらをご覧ください。
URL: <http://www.ozone.co.jp>

大切な住まいを長持ちさせる優れたもの。
「床下換気に関する情報」サイトをリニューアルしました。

SEIHO-WEBトップページ
「床下換気に関する情報」
ボタンをクリックしてご
覧ください。

URL: <http://www.seiho-sdk.co.jp/yk>

NEWS

白対協 全国大会へ出展参加

■会期: 2005年9月7日(水)~8日(木)
■会場: ルネッサンス岐阜ホテル

9月7日~8日に岐阜県岐阜市ルネッサンス岐阜ホテルにおいて開催された「日本しろあり対策協議会第48回全国大会」の展示会に、当社も出展いたしました。38の企業が出展参加されており、終日盛況な展示会でした。当社ブースではブロー型換気システムが注目を浴びていました。とくに「タービン・ユニット」に多くの質問をいただき、来場された皆様の関心の高さが感じられました。



浸水被害への協力体制

今年各地で台風や大雨による水害が発生いたしました。被害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。西邦電機では今回、床上・床下浸水被害にあった製品の修理や検査について規定枠外で出来る限りの協力体制を考えております。詳しくは当社までお問い合わせください。

フリーダイヤル: 0120-278-900
関東支店: 048-863-1133
関西支店: 06-6854-6077
九州支店: 092-928-6300

半

HISTORY OF S
西邦電機 小史

第11回
「全てを任せる」

年後、モーターの注文は不況の前の水準まで回復すると生産が間に合わなくなっていた。
オイルショック後、捲線の人員を加工先も長崎工場も全て整理していったからである。
月産5万台の生産設備を備える長崎工場といえども、捲線の人員がいなくなることには対応できなかった。
捲線の技術は長い時間をかけて習得するもの。
ほとんどを協力工場に頼ってきたから、需要が増えたと行って自社工場ではすぐに対応できるというものではなかった。
本社は猫の手も借りたいぐらいで、事業部長以下幹部が連日工場に駆り出されていた。
朝6時に出勤して、アルバイトを手伝う幹部の姿は、哀れであった。
協力工場を整理したツケを自分達の体で払わされているのだ。
そのうち社員も毎日本社から、協力工場に出向するようになった。
昼間は応援に来た社員が働き、夜は協力工場の社員が働いた。
協力工場は昼夜兼行で捲線を生産した。

それを待つモーターが組み立てられた。
朝になると出来た製品を集めてトラックで空港へ運んだ。
昼までには大阪の松下電器産業に届けないと、大阪本社の製造計画が狂ってしまう。毎朝、飛行機を使つての「自転車操業」が3・4ヶ月続いた。
事業部長から、このゴタゴタが一段落するように相談を受けた私は、モデルチェンジの為、2ヶ月間生産をストップする松下冷機株式会社社の冷蔵庫用モーター需要が減るので、その間は長崎工場に余剰人員ができる。その人員を一時的に捲線ラインにもつていけないかと考えていたのだ。
だが、事業部長が相談しても長崎工場長は動かなかった。長崎の再開を好ましく思わない幹部が本社にいて、工場長に圧力をかけていたのだ。
大石が本社に行った折、事業部長が近寄ってきて「工場長をなんとか動かすようにやってくれないか」と言った。
「私は事業部長付営業課長ということになっており、部下は一人もおりません。それでもやれと言われるのなら、専務にお願ひして『大石に全てを任せる』と工場長に電話してください」というと、
「よっしゃ、わかった」と事業部長は私を連れて専務の部屋に連れて行った。
事業部長から一部始終を聞いた専務は、すぐに長崎に電話を入れ、「大石君に全て任す」と言つて受話器を置き、「これでええやろ。大石君、頼んだぞ」と私の肩をポンとたたいて、ニツと笑つた。

ごあいさつ

謹啓 秋冷の候 ますます御清祥の段お喜び申し上げます。
平素は格別の御厚情を賜り心より感謝申し上げます。
さて7月21日に発売されました「タービン・ユニット」の採用が徐々に増加傾向にあり、次世代商品の意義・コンセプトについてのご理解も着実に深まっております。今回のニュースレターでもご紹介しておりますが、「タービン・ユニットTypeAi/TypeBi異常センサー付き」「床下浸水センサー」等の付加価値でさらに魅力的なユニットの実現を目指して参ります。
またホームセキュリティにつきましてもバージョンアップ新製品が12月に発売開始の予定です。あわせてご期待ください。
おかげさまで弊社も今年創業30年という節目であります。これも皆様方の御支援の賜物と心より感謝申し上げます。
西邦電機はさらなる努力・研鑽を重ね、あるべき姿への進歩向上を決意いたしております。どうぞ今後とも引き続きご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願ひ申し上げます。
謹白

平成十七年 十月
西邦電機株式会社 代表取締役
大石 龍也

●西邦電機オフィシャルニュースレター『ウインド・フロム・フューチャー』2005年 秋 第11号 ●発行日 / 2005年10月1日発行
●発行 / 西邦電機株式会社 〒818-0066 福岡県筑紫野市永岡1021-2 西邦ビル tel 092-928-6300 fax 092-928-6353



*最新情報は こちらで SEIHO-WEB www.seiho-sdk.co.jp

このニュースレターは、環境にやさしい大豆油インキ (SOYINK) を使用しています。 PRINTED WITH SOYINK WFF11B3T-051001

お客さまと西邦電機をつなぐコミュニケーションペーパー



タービン・ユニットについて

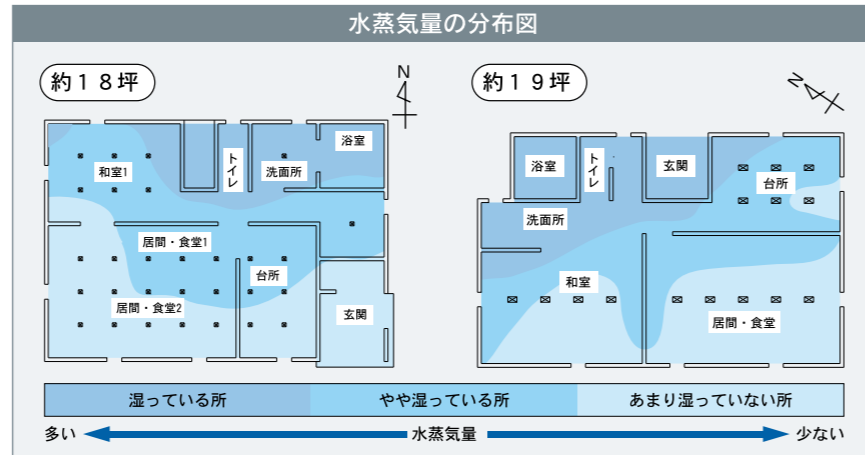
■ユニットの概念

ユニットの換気は従来の「排気型換気扇を基本とする床下全体の換気」という考え方をさらに進歩させ、「適切な箇所に排気型換気扇、拡散または攪拌型送風機を配置することで効果的な換気を行う」考え方としています。

ただし、局所部分だけの改善効果をねらうのではありません。

■ユニットの設置場所

床下の水蒸気量や土壌・コンクリート基礎の水分量や、木材の含水率を実際の家屋で調べた結果、右の図のように比較的環境の悪い所の大部分は、北側および水回りの床下でした。



よって、排気型換気扇並びに、床下内部にあらかじめ拡散または攪拌型送風機を配設することで、換気および通風効果を得られるようになります。

それ以外の比較的環境の良い所も自然換気時より風の流れ(風速)が向上する為、ほぼ床下全体の通風効果が換気扇設置前に比べ、得られるようになります。

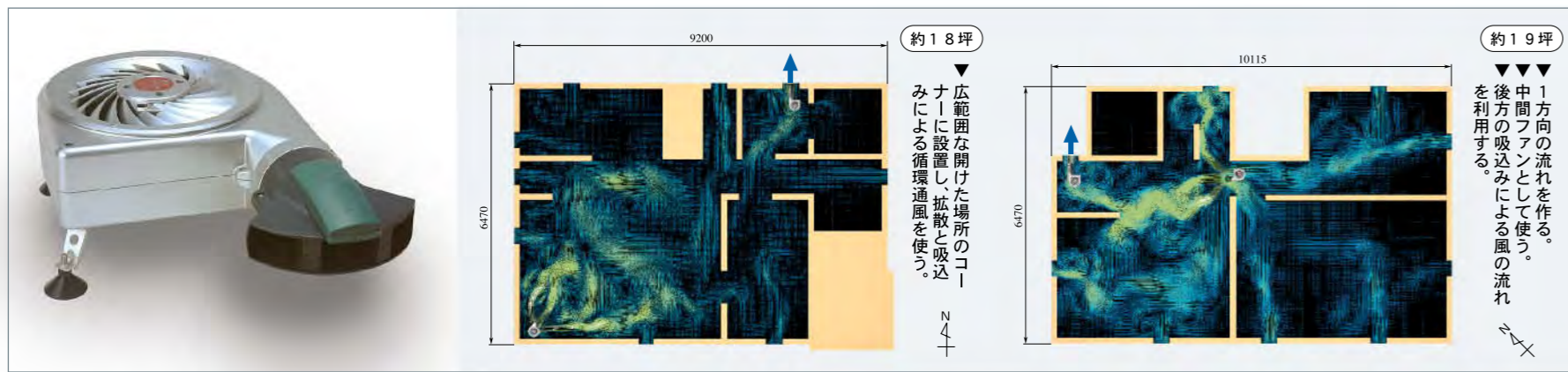
適切に配置した場合、床下内の風の流れは、比較的環境が悪い北側および水回りは活発な風の流れができます。

排気型換気扇1台と拡散・攪拌型送風機1台で、対応面積は20坪まで/セットとされています。(一般的な床下構造での目安です)

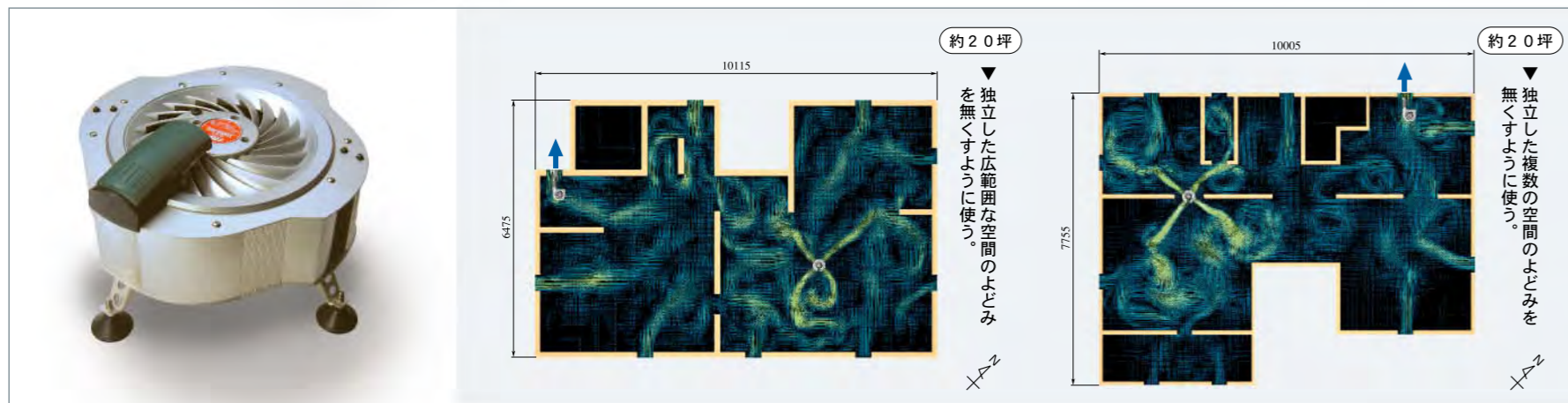


■コンピュータ気流シミュレーションによるタービン・ユニットの Type A と Type B の使い分け

Type A タービン・ブローとタービン・ディフューザーの組み合わせの場合



Type B タービン・ブローとタービン・ウインドの組み合わせの場合



NEWS 新製品紹介

タービン・ユニット Type A? Type B? (異常センサー付き)

10月末発売

ファンがロックや回転異常が生じた場合、異常センサーが異常を検出し、コントローラーに表示することが可能となります。正常に作動しているか、わかるようになり安心です。

■ハイブリッド・コントローラーの点検ランプが点滅し、異常警報をします。

床下浸水センサー (ハイブリッド・コントローラーオプション)

水漏れしそうな所に設置し、ハイブリッドセンサーに接続することで、床下浸水や水漏れ時に、換気扇の通電をストップさせ、異常をコントローラーに表示することが可能となります。

■ハイブリッド・コントローラーの点検ランプが点滅し、異常警報をします。

NEWS ライフディフェンスが新しくなります。

ホームセキュリティシステム「ライフディフェンス」が機能・デザイン共にバージョンアップします。

- 誰にでも使いやすい簡単操作。
簡単操作のNEWライフディフェンスはボタン類も大きく、お年寄りやお子様にも使いやすく設計されています。
- すぐれた拡張性で様々なニーズに対応。
市販のセンサー類やカメラでもワイヤレス送信機や有線方式で、お客様のお好みに合わせシステムに組み込むことができます。
- 配線工数の少ない簡単施工。
基本的なシステムパーツはすべて無線方式で面倒な配線工数はありません。
※無線センサーは最大60ヶまで使用できます。

西邦電機は、床下・天井裏換気製品を通じて「住まいの安心・安全」の実現を目指した事業展開に注力してまいりました。そして現在、新たに「家族の安心・安全」というキーワードを事業領域に反映させています。

ホームセキュリティ事業については今後さらに必要不可欠なサービスになると予想され、当社製品もバージョンアップによってご販売店のニーズに応えることを目指しています。

現在換気システムをご販売されている皆様のご大切な顧客に対する「次の提案商品」として、また「住まいと家族の安心・安全」の実現に向けて、新しいライフディフェンスをご活用ください。

悪徳リフォーム問題についての見解

昨今、悪質な住宅リフォーム業者の被害が増加していることが社会的な問題になっております。彼らは「床下」や「天井裏」という消費者から見にくい場所をターゲットとしており、消費者の不安感を煽り不必要かつ法外な価格の商品を強引に販売しているという内容です。

私ども西邦電機が床下換気システムを全国発売したのは昭和56年であり、(H2実用新案登録)高温多湿の日本の住宅環境においてウィークポイントであった床下を改善させ建物の寿命をのばすという目的で開発されました。当然、それまでなんの通風対策もとられていなかった住宅の床下を強制的に換気・通風させるということは湿度やカビ対策として有効に機能し、現在も床下の環境改善に大きく役立っています。

今回の一連の詐欺まがいの販売行為は、強引かつ悪質な販売手法、不当に高額、必要以上の商品を設置しているという点では、常識を大きく逸脱しているものであります。

床下換気システムについて申し上げれば、適正な取付台数は全く無視され、しかも配線すらされていないものもあつたようです。

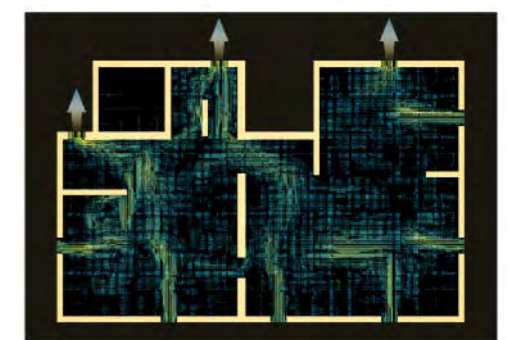
西邦電機ではメーカーとして、行政への床下換気商品についての技術的な情報・資料等の提供協力をしており、悪質な業者の淘汰を心より願っております。

床下換気の効果性について

一部のマスコミ・テレビの中で(当社の製品ではありませんが)専門家と称する方が「床下製品が意味をなさない」とコメントされていたようです。

コメントの意図はよくわかりませんが、少なくとも当社においては、社内に気流プログラムシステム、検証用のシミュレーションスタジオ、テストハウス2棟、環境試験室等の施設を有し、厳しい実験検証を行っております。

そして、その効果性については明確にデータ化されておりますので、安心してご使用いただけますようお願い申し上げます。



当社施設は一般にも開放しており、全国から建築家や住宅関連会社の方が視察にこられ換気効果の確認・検証に活用されています。

「床下換気扇メーカー会」発足

運営の目的

床下換気扇メーカー会は、床下換気製品の適正な情報を多方面に発信することで、製品が正しく販売・施工され、日本の戸立て住宅における環境改善を推進し、社会に貢献できるよう努力することを目的としております。



「床下換気扇メーカー会」オフィシャルホームページURL <http://www.u-v-a.jp> よりサイトにアクセスしてご覧ください。



気流シミュレーションスタジオ

木材含水率測定

ONE POINT 物知り講座

木材の腐朽

木材には「燃える」「狂う」「腐れる」という特徴がありますがこれらは木材の欠点といわれています。住宅に使用する木材の腐れを防止するには木材腐朽菌そのものの性質をよく知ることが、また材料、工法、メンテナンスなどの工夫が必要で。

- 腐れと木材腐朽菌
腐れとは木材腐朽菌によって木材質が分解した状態を言います。木材腐朽菌にはおもに木材のリグニンを分解して、白腐れを起こす白色腐朽菌(カワラタケ、カイガタケ)と木材のセルロースを分解して褐色腐れをおこす褐色腐朽菌(ナミダタケ、イダタケなど)の二種類に分類されます。
腐朽菌によって木材の成分が分解されていくと、木材の重量が減少します。それが五十%以下になると木材の強度はゼロになります。
- 腐れが起きやすい場所
住宅において腐れやすい場所は浴室、台所などの水回りや、床下、押し入れ内部などの湿度が多い場所です。目頃からの注意が必要です。
- 住宅の水分管理
腐朽菌の生育を抑制するためには木材の含水率を二十五%以下に管理することです。
しかしナミダタケのように土中の水分を吸収して木材を腐らせる菌もいるので注意が必要です。
- 基本的な生育条件
木材腐朽菌の生育条件は木材含水率三十~五十%、湿度八十五%以上、温度五~四十五度、酸素を必要とし、栄養分は木材の主成分であるセルロース、ヘミセルロース、リグニンなどです。この酸素・温度・水分・栄養物の四つが生育のために必要です。条件がそろわないと腐朽菌は生息できません。以上の生育条件の内、腐朽菌が生息できない酸素と温度のコントロールは人間にとっても困難です。そこで重要なのが水分管理(木材含水率、湿度)、および専用の防霉剤で防霉処理をすることなのです。
- 腐朽菌の発芽
発芽には一定条件の温度・湿度がある期間、継続されなければなりません。そのため空気動きがあると温度・湿度が安定に保たれないため、発芽できにくくなります。また空気の流動は乾燥を促す効果もあります。

